

2016（平成28）年度予算について

青山学院財務部

青山学院の2016（平成28）年度（以下、当年度）資金収支予算及び事業活動収支予算は、予算会議の議を経て、収益事業部予算とともに、本年3月24日開催の評議員会、引き続き開催の理事会で承認されました。

本学は2014年度に創立140周年を迎え、次の10年に向けた『AOYAMA VISION』を発表いたしました。少子化やグローバル化を巡る学校間競争がますます激化する中で、本学が『AOYAMA VISION』のもとに長期にわたって発展を続けるためには、財政基盤の強化が必須となります。そのため、収入の安定的な確保とそれに見合った支出予算が組み立てられるよう、これまでも予算編成方法の見直しを行うなどの改革を進めてきました。

当年度の予算編成に先だち、2015年7月1日に理事長名で「2016年度予算編成方針」を各設置学校及び法人各部署に発信しました。具体的には、「①学生生徒等納付金を安定的に確保し、入学検定料の増加や補助金の積極的な獲得など収入増を図ること、②スクラップ・アンド・ビルドを徹底し、それぞれの予算枠の範囲で支出予算を編成すること」で、一定の基本金組入前当年度収支差額（帰属収支差額）を確保し、教育・研究の質を高めるための積極的な施策を行うことを基本方針とするものです。

当年度予算の収入面では、前年度予算に比べると、学生生徒等納付金は大学の新設学部の学年進行や新入生確保数の見直し、女子短期大学及び高等部の学費改定などにより増収を見込み、寄付金は青山学院 EVERGREEN150 募金の強化に取り組んでまいります。

一方支出面では、『AOYAMA VISION』の実現に向けた施策を予算に計上いたしました。また各設置学校、法人各部署は予算の目的を検証し、経費の徹底した見直しを行い、学院全体としては、人件費総額の高止まりに対する施策を当年度も織り込みました。さらに学生・生徒・児童・園児の安全安心のため、青山キャンパスの災害時対応放送設備改善工事、校舎の耐震補強（大規模天井落下防止対策）工事など緊急性の高い工事を優先的に取り組むよう予算を編成いたしました。

当年度実施予定の主な支出項目としては、

- ① 青山キャンパス再開の一環としての中等部校舎建替工事費用
 - ② 各キャンパス施設・設備の計画的修繕費用
 - ③ 法令改正に伴う各キャンパス建物大規模天井落下防止対策工事費用
 - ④ 『AOYAMA VISION』の実現に向けた費用
- 等があります。

本学は『AOYAMA VISION』の達成に向け、財源の確保とともに、基盤となる施設設備計画、財務基盤の強化、組織・運営体制の充実に取り組まなければなりません。そのために、学院全体の収支構造を徹底的に検証し、教育環境整備のため、財務基盤の強化を図ってまいります。

以上